

平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

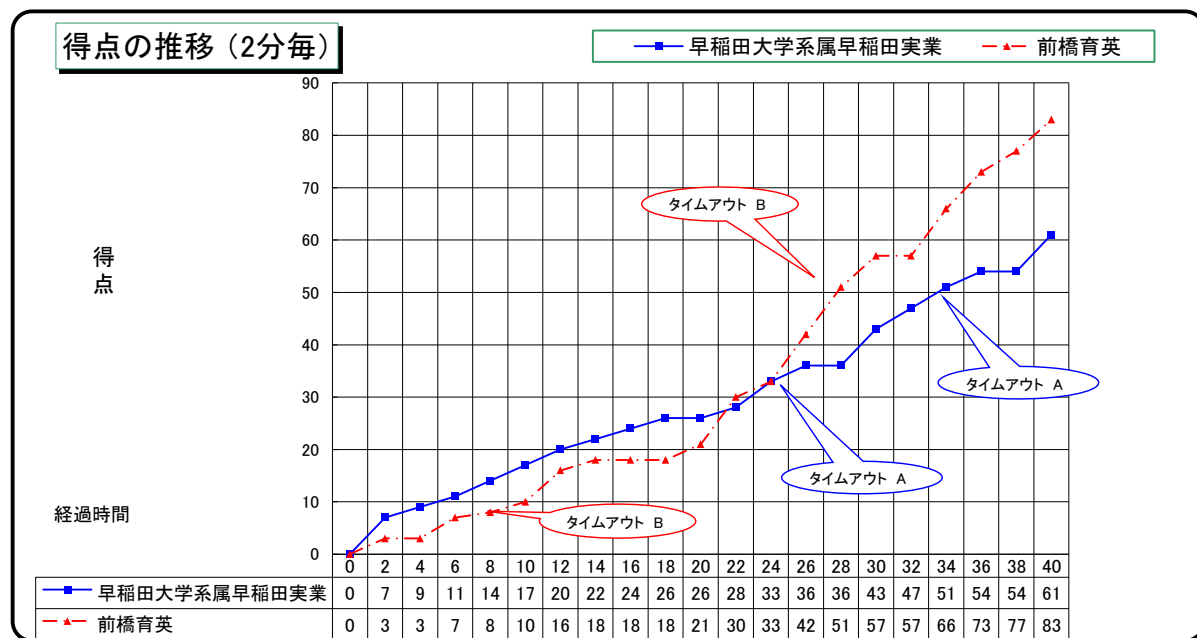
<1回戦>

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Aコート	第2試合 10:30~
<チームA> 早稲田大学系属早稲田実業 東京		61 { 17 1Q 10 9 2Q 11 17 3Q 36 18 4Q 26 } 83		<チームB> 前橋育英 群馬
主審: 山崎 敬次郎(千葉) 副審: 尾花 幸雄(茨城)				

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	乗田 開	5	1	1		2
◎	5	岡田 康平	3		1	1	4
◎	6	長谷川 仁哉					2
◎	7	徳田 成弥	24	2	7	4	4
◎	8	立川 慎	10	2	2		1
○	9	萩原 圭	11		5	1	2
	10	阿部 奏真					
○	11	池上 太一	8		1	6	2
	12	鳥越 智貴					
	13	牟田 朋晃					
	14	山崎 遼太					
	15	濱本 和樹					
	16	青木 芳樹					
	17	大島 岳晃					
	18	安村 共生					
		コーチ 戸坂 勝					
合計			61	5	17	12	17

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	酒井 達也	22	4	4	2	2
◎	5	櫻井 啓翔	27	1	11	2	1
◎	6	鎌田 菖之介	12		6		4
◎	7	渡部 豊	8		4		2
	8	萩原 皓介	2			2	
○	9	鎌田 隼人					2
○	10	大谷 恭平					1
	11	高橋 伸吾					
○	12	柴多 亮					
◎	13	星野 代朔					
○	14	長谷川 明輝					
○	15	田中 城					
○	16	瀧 稜太	4		2		
○	17	相川 勇樹					2
○	18	大山 将平	8				3
		コーチ 加賀谷 寿					
合計			83	5	27	6	17

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評	記入者: 坂木 玄洋
----	------------

第1P, 両チームともにハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり、早稲田実業④乗田、⑦高坂が3pシュートを決めると、前橋育英④酒井3pシュートを入れ返す。前橋育英は、スクリーンのセットから多彩な攻撃を見せるがシュートが決まらずに得点が伸びない。残り3分、11-7で前橋育英はタイムアウトを取りディフェンスのプレッシャーを強める。結果、早稲田実業は無理なシュートや24秒オーバータイムを犯し、前橋育英に流れが傾きかけた。しかし、早稲田実業も⑦高坂の連続3pシュートで再びリードを広げる。17-10で第1P終了。

第2P, 両チームともに粘り強いディフェンスの前に得点の入らない時間帯が続く。お互いに決め手のないままに試合が進み、26-21の早稲田実業リードのまま前半が終了。

第3P, 前橋育英育は⑩瀧、④酒井の3pシュートで同点に追いつき試合を振り出しに戻す。その後も前橋育英は④酒井の1対1を中心に攻撃の手を緩めず一気に逆転を果たす。残り5分、33-37で早稲田実業はタイムアウトを取るが、前橋育英の勢いは止まらず、⑤櫻井が活躍を見せて次々に得点を上げる。さらに点差が開きかけるが、早稲田実業も⑪池上、⑨萩原が得点して粘りを見せる。前橋育英が43-57リードして第3Pが終了。

第4P, 開始直後に早稲田実業⑧立川の3pシュートが決まると、さらに⑨萩原の得点で再び点差を1桁にする。しかし、前橋育英も④酒井、⑤櫻井の活躍で再びリードを広げる。残り6分49-61で早稲田実業はタイムアウトを取り、2-2-1から2-3のゾーンディフェンスにチェンジする。しかし、早稲田実業は慌てることなくボールを回し、逆に得点を広げて試合を決定づける。結局、61-83で前橋育英が勝利を収めた。